

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	産業振興課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上		電話番号	087-839-2411
	基本事業	特産品の育成・振興		事業実施主体	市
	事務事業	伝統的ものづくり支援事業（産業振興課分）		事業期間	平成 30年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	盆栽・漆器・石製品を始めとする、本市伝統的ものづくり産業を振興するため「高松市伝統的ものづくり振興条例」（平成26年度施行）の基本理念に基づき、伝統的ものづくり産業の普及啓発・販路拡大や、次世代への担い手の確保・養成を図り、特産品の育成・振興とブランド力の推進及び地場産業の活性化を推進する。				
29年度概要	伝統的ものづくり振興審議会 67千円、学校巡回教室 450千円、伝統的ものづくりセミナー 150千円、第8回世界盆栽大会 in さいたま出展事業 900千円、伝統的ものづくり展示会及び見本市開催補助 1,560千円、伝統的ものづくり振興事業補助 1,500千円、香川漆芸魅力発信事業 2,423千円				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	伝統的ものづくり産業
意図（どのような状態にしたいか）	伝統的ものづくり産業の普及啓発・販路拡大・担い手育成

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
普及啓発事業開催件数	件			16	10	10
販路拡大事業出展等件数	件数			4	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	普及啓発事業等参加人数	件	目標値			650	700	750
			実績値			574		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 普及啓発事業を開催し、参加人数を増やすことで、特産品の育成・振興とブランド力の推進に寄与する。 (目標達成度)	800 600 400 200 0		H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31		(達成度) 88.3%		30点
成果指標	販路開拓事業等来場者数	人	目標値			18,800	19,400	20,000
			実績値			19,421		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 販路拡大事業を開催し、来場者数を増やすことで、特産品の育成・振興とブランド力の推進に寄与する。 (目標達成度)	25000 20000 15000 10000 5000 0		H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31		(達成度) 103.3%		35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	15,378	18,126	19,509	16,864
（事業費）	[円]	7,628	10,065	9,695	7,050
（職員人件費）	[円]	7,750	8,061	9,814	9,814

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

伝統的ものづくり事業者や、審議会からの意見を踏まえ、普及啓発、事業の参加者の拡大や販路拡大に並行して、事業者の事業環境整備、次世代を担う人材の確保等を積極的かつ効率的に行う必要があり、事業を拡充させることが妥当である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域経済の活性化のため、本市の重要な産品の伝統を守り、発展させる取組が必要であり、本事業を拡充させることは妥当である。